

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2026年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。5, 6年男女混合4×100mリレーは、男女各2名で走り、走順に規定はありません。補欠は男女各1名以内、合計6名以内の編成とします。2026年度日本陸上競技連盟競技規則にて新設されたTR24.11については適用外といたします。

2. アスリートビブスは胸と背に必ず規定のものを糸又は安全ピンで取り付ける。各自で用意すること。

3. 競技場への入退場等について

【 競技者・引率者・審判 】

- ・会場時間は午前7:00※**小学生の入場は10時30分、中学生の入場は7時からとする。**
- ・正面駐車場は競技審判員、第一駐車場は引率者・保護者が使用する
満車の場合は有料駐車場へ（路上駐車をしない）
- ・競技場内への入場はすべて第一ゲート（100mスタート方法地点）を使用する。

【 保護者・観戦者 】

- ・競技場内への入場はすべて第1ゲート（100mスタート地点後方）を使用する。
- ・送迎は競技場周辺の停車を禁ずる。札幌陸協HP「送迎について」を参照すること
第1駐車場内送迎スペースを利用すること。近隣住民や商業施設からの苦情絶えない。

【 共 通 】

- ・トイレについて
選手保護者は、第1ゲート外側トイレ、2階スタンド席後方トイレを利用すること。
選手は屋内練習場のトイレも利用できる。
- ・競技開始後は、正面入り口から場内に入場することはできない（緊急時を除く）
- ・貴重品の管理は十分注意を払うこと。テント等には必ず1名いるように。（置き引き多発）
- ・第2駐車場を利用することは出来ない。

【 記録等 】

記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。放送では3位までの記録等を発表する。
それ以外はアスリートランキングで確認する。

4. 選手の招集について

【 トラック競技 】

- ・招集点呼場所は、**点呼場所（第1ゲート → 100mスタート地点後方）**で行う。
競技者係に、自分の名前・種目・組・レーン番号を伝え、アスリートビブスを見せる
- ・腰ナンバーカードを腰の右側やや後ろに必ずつける。
- ・逆走の場合は、腰ナンバーカードを左右につけること。
- ・スタート地点への移動は係の指示に従う。
- ・長距離種目の腰ナンバーカードは、9レーンまでは自分のものを使う。10レーン以降は主催者が用意したものを使用する。
- ・リレーについてはすべて、決められたレーンを走る。（バトンの受け渡しは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。）オーダーは競技開始時刻の1時間前までに競技者係まで申し出て、オーダー用紙に走る順を記入する。
バトンを渡しても他の選手のじゃまにならないようにするため、係の指示があるまで、自分のレーンから出ないこと。
- ・マークに使用したテープ類は、必ず片付けること
種目が重なっている場合、トラック種目が優先されるので、そのことを審判員に申し出て指示に従う。

【フィールド競技】

- ・招集完了時刻まで競技を行う場所に直接集合する。その際、トラックの横断には十分に注意すること。
- ・招集が終わったら審判員の指示に従う

5. プログラムに記載間違いがあったら本部（総務）に早めに申し出ること。プログラムの配布については、小学生は10名以下には1部、10名以上には2部（中学生はなし）またレーン、試技順はプログラムの番号順とする。

6. スパイクシューズ、スタートの仕方、リレーのテイクオーバーゾーンについては要項に記載のとおり。
なお、小学生のハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、高さ70cm、台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。

7. フィールド競技（走高跳、走幅跳、砲丸投、ジャバリックボール投）

(1) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候によって変更することもある）

【小学男女走高跳】

練習1m05 試技1m10から5cm上げ、1m30以上は3cm上げとする。

背面跳ではなく、はさみ跳でマットへの着地は必ず足裏からとし、背・腹などからの着地は無効とする。

(2) 走幅跳、砲丸投、ジャバリックボール投の試技は、それぞれ2回ずつとする。また、走高跳、は同じ高さでの試技は2回とする。

8. 表彰（小学生のみ）

(1) 1位にはメダル、8位までの入賞者に賞状があります。

(2) 1位～3位までの入賞者は競技結果発表後30分程度を目安に正面入口内で係員からメダルおよび賞状を受け取ってください。なお、正面入り口外には、1位～3位までの表彰台を設置します。
写真撮影等に使用してください。

9. 北海道大会に関して

(1) 今大会において、個人種目トラック競技3位、フィールド競技2位、リレー種目2位、コンバインドA・Bは2位までに入賞した選手は出場権がある。または2026年度の競技会において参加標準記録を突破した選手

(2) 順位で参加資格を得た選手が参加を辞退した場合、繰り上げて参加資格を得ることはできない。

(3) 北海道大会への申し込みについては、各チーム・各自にて行うこと。

(4) 全道大会出場者は競技者登録が必要となります。登録料1,000円

登録はWeb画面よりJAAF-START登録システム→JAAF-START会員向け専用サイトより進んで下さい

10. 撮影について

(1) 基本的に選手を撮影（写真・動画など）することは認めない。選手肖像権保護のため

但し、下記の場合を除く ※携帯での撮影も同様

(2) 札幌陸上競技協会HP～大会参加者の皆様へ～「競技会における「撮影（写真・動画）制限」に関するお願い（2026年6月改訂）」を遵守できる方に限る（許可制）

撮影できる場所・・・以下の場所以外は不可

・メインスタンド（曲走路側のスタンドは不可）

・トラック競技・走幅跳がバックストレート側で行われている場合、バックストレート側の観客席にコーンで撮影許可場所を表示する（コーンの間、前から2段目の席まで）

(3) 撮影できる条件

・受付時間・場所について

場所：正面入り口 時間：朝8時30分～9時と12時15分～13時。それ以外の時間帯は、大会総務に問い合わせること

・事前に受付を済ませて「撮影許可証」を受ける。「撮影許可証」は、周囲から見えるように手首に着用する。
持っていない場合は撮影不可。